

# 髪は、いったい いつどこ 何時・何所で傷むのか？

## ■はじめに■

まず、はじめにお断りしておきます。

これから私が書く文章はあくまでも私観であり、  
全てが学術的に証明されているものではありません。  
ん。

髪のメカニズムは化学が発達している現在でも証  
明されていることが少なく、ほとんどが仮説をも  
とに考えられているからです。

美容を 20 年間続けながら、まじめに考え続けた  
私の私観ですので精度は高いと思いますが、間違  
いもあるかもしれません。

最近の髪のダメージは著しく、人類史上最悪かも  
しれません。

古くから「髪は女の命」とか「髪は顔の額縁」と

も言われて来ました。

美容師としてデザインの重要性は理解していますが、デザイン性を重視するあまりに髪質感は犠牲になり、形と質のバランスが激しく崩れている事実には疑問を感じます。

あくまでも美しくなるための美容ですので形と質のバランスが重要です。

このホームページがより美しくためのきっかけになり、自己防衛や自己判断の知識となれば幸いです。

また、  
同業の方が読まれてもためになると思います。

共に美容道を歩む者同士が向上し、業界全体の活性化につながれば、なお幸いです。

美容室モデル 梅田博之

## ■ 美容師・美容室のあり方について

美容室は、本来  
「心身ともに美しく」なるところです。

美容業を行う上で、  
最も大切になるのは「技術」ではなく「心」です。

技術を学ぶ上においても、  
薄っぺらな技術にしてしまうか？  
厚みのある技術にするか？は、  
美容師自身の「心構え」が大切です。

私共、モデルノの合言葉に

**「お客様の髪を自分の髪だと思え」**  
と言うものがあります。

「もし、自分の髪をシャンプーするのなら・・・」  
どうしたら気持ちいいのか？

「もし、自分の髪にカラーリングをするのなら・・・」  
どうして欲しいのか？

「もし、自分が自分にパーマをかけるのなら・・・」  
どこに注意をするのか？

技術にかかる総合的な時間・料金・接客の全てに  
自分がお客様になった場合、  
本当に価値のあるものなのか？

当たり前的事、と思われるかも知れませんが、  
中々、当たり前が当たり前に出ていないのが  
美容業界です。

美容師である前に「人として」なにができるのだ  
ろうか？を考えなければなりません。

「心」が技術を支え、  
心のこもった技術がお客様の「信頼」を得る。

そういう職業人意識を持たなければなりません。

## ■ 髪は美容院で 『お金を払って』傷めている

### 【1】美容師は『失敗した原因』を知っている！

先日、2回目にご来店のお客様から、こんなお話を頂きました。

**モデルノ** 「〇〇様、前回のストレートパーマは良かったですか？」

**お客様** 「良かったですよ！  
あんなにキレイにかかっている、  
傷みもなく、ツヤも手触りも  
最高でした！」

「今までキレイにかかった事が  
なかったし、  
たまに、のびるとバサバサに  
なるんです！」

**モデルノ** 「そ~ですか、  
でも今回はキレイにかかって  
良かったです！」

**お客様** 「なんで、お店によって、

こんなに違いがあるんですか？」

**モデルノ** 「傷まないように研究しているか？  
していないか？  
喜んで頂きたい！という気持ちがある  
か？ないのか？の差だと思います」

**お客様** 「キレイにかかっているか？どうか？  
とか、  
傷んじゃった？どうか？  
とかは美容師さん自身は  
判っているんですよね～・・・？」

**モデルノ** 「知ってます！  
知っていて、気づかない振りを  
しているだけです」

**お客様** 「やっぱり！・・・。」

**美容師は知っています！**

今、目の前にある『お客様の髪』が、  
キレイにパーマがかかっているか？どうか？を。

そして、失敗しているか？どうか？も

全て知っています！

知っていて、  
知らない振り・気づかない振りをしています！

もちろん！傷んでしまったか？どうか？も  
知っています。

だって、それぐらい判らなきゃ  
美容師になれません！

では何故？知っていて、知らない振りをするの  
か？

理由は3つ考えられます。

- ①お客様に「やり直させて下さい」という  
勇気がない。
- ②やり直すのが面倒臭い。
- ③やり直しをすると、お店のオーナーに怒られる。

すべて、現実であり、事実です！

そして被害者は、いつもお客様です！

## 【2】見切り発車が『被害者』を増やしている！

美容業界には、  
今でも続く「悪い風習」があります。

ろくに練習もしない段階で、お客様に施術して  
しまう風習です。

この冊子を読んで下さっている方の中にも  
経験がある方もいるかも知れませんね？

満身に練習をしていない段階で、  
お客様に施術すると「取り返しのつかない失敗」  
が起きてしまう場合があります。

最近では「デジタルパーマ」による被害が多くみ  
られます。



### 【電気パーマ】

通称：電髪

1923年（大正12年）に  
アメリカから輸入され、  
昭和5年頃から庶民に普及  
し始める。

昭和15年に陸軍省の命令  
により自粛通達があり姿を  
消した。



デジタルパーマの基本理論は、  
電髪と何ら変わらない。

当時の電髪の「技術」情報量は  
現在のデジタルパーマの情報量に比べ、  
比較にならないほど少ない。

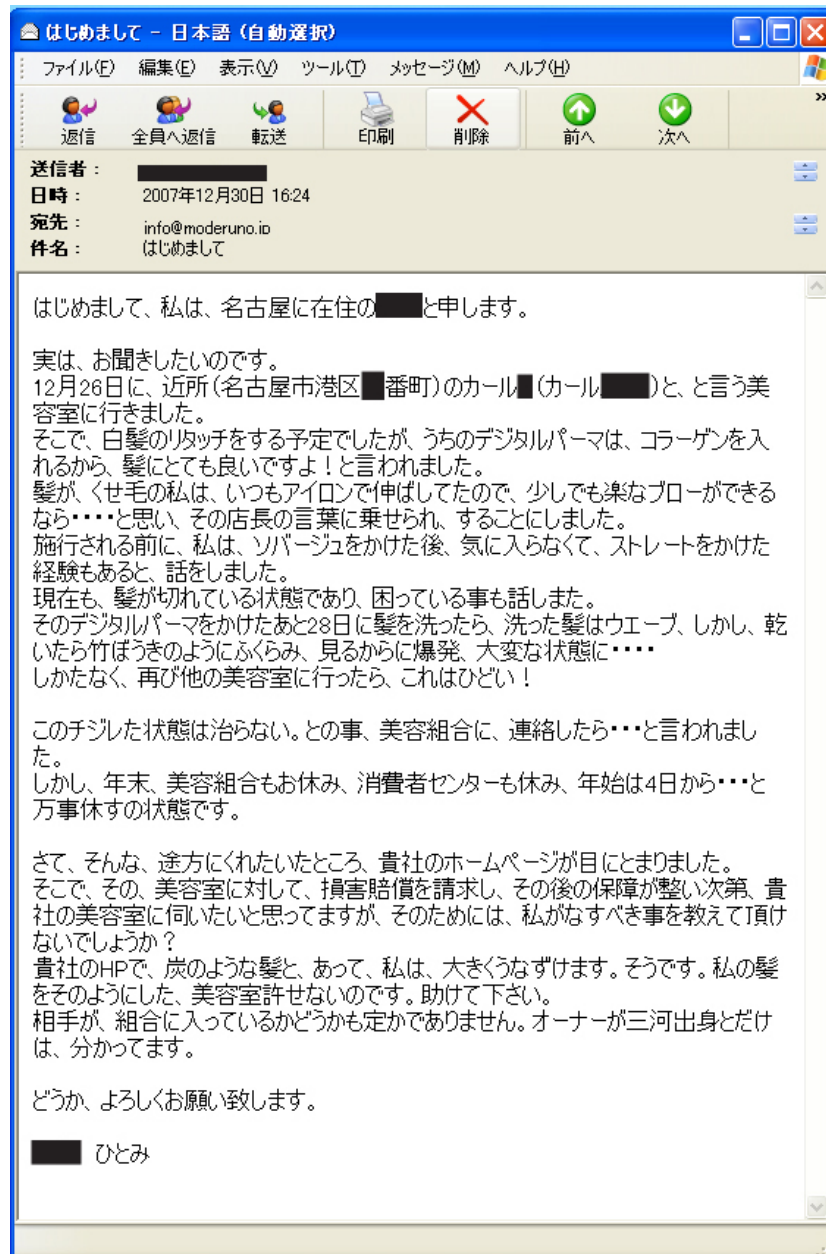
現在は、美容師が勉強しないだけ。

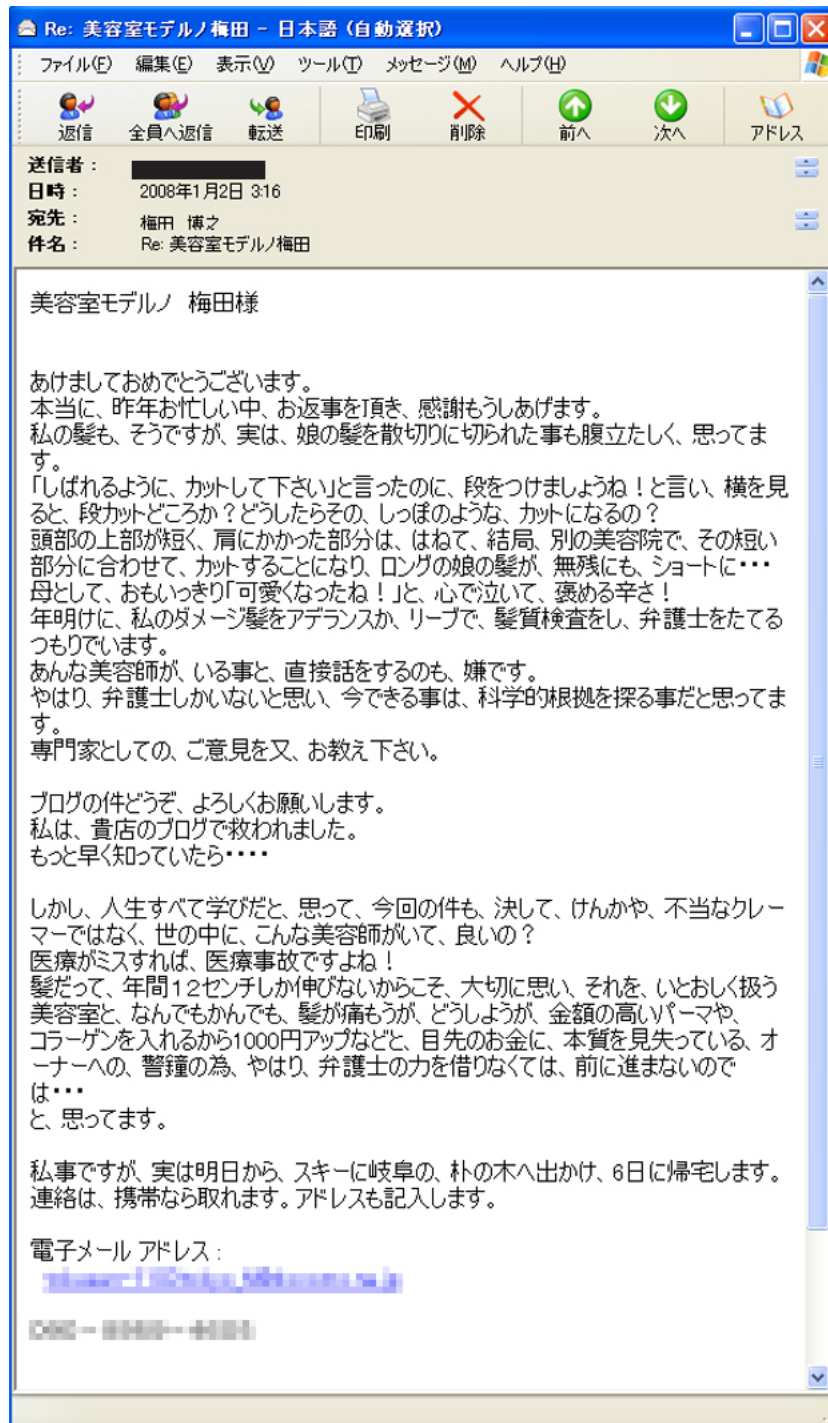
デジタルパーマのメカニズムを正しく理解しない  
内にパーマをかけてしまい、髪がボロボロに傷ん  
だり、ひどい場合には「炭」になってしまうケー  
スが多発し、

訴訟を考えている「被害者」も少なくありません。  
常に被害者はお客様です。

しかも、美容師・美容室を信頼し「髪」を預けて  
いるのです

お客様の承諾を得て、  
相談のメールをご紹介します。





訴訟を起こすとしても、  
弁護士費用に300万~500万ぐらいの  
費用が必要です。

特に民事裁判の場合、  
弁護士さんを雇うこと自体が「贅沢」という  
認識のため（個人でも訴訟を起こせる）、  
たとえ勝訴したとしても、弁護士費用は敗訴者に  
請求することは出来ないそうです。

しかも、仮に勝訴したとしても、  
損害賠償金は、今回のケースで20万~50万程度。

とても、弁護士費用は出ません。

まず、あり得ないと思いますが  
万が一にも敗訴という事になれば、  
法廷料として500万程度必要になるそうです。

被害を受けて、訴訟に持ち込んでも  
そのリスクは800万前後という事になります。

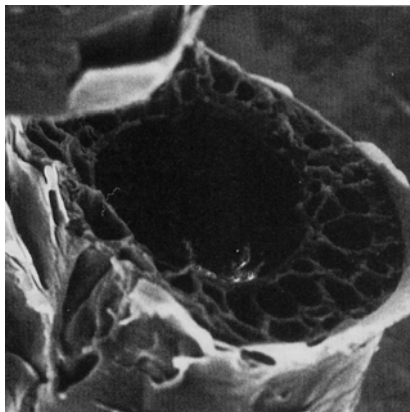
結局、このお客様も「涙」を吞んで、  
告訴されませんでした。

誠に遺憾ながら、これが司法の現状です。

いい加減な美容師が、  
見切り発車で、いい加減な仕事をし  
被害者は「あなた」です。

しかも、美容組合に加入していれば、  
組合の損害保険が適用されますが、  
今回のような、いい加減な美容室ほど、  
組合に加入しておらず、  
美容組合の損害保険は使うことが出来ません。

馬鹿な話です！



【熱によって損傷した髪】  
縮毛矯正やデジタルパー  
マ・コテパーマによって  
傷んでしまった髪。  
髪の毛の断面は、焦げてしまい  
水分は全く存在しません。



【これって髪？】  
髪なのか？何なのか？  
解らなくなってしまってい  
る「髪」です。  
傷んでいる部分を触ると

「デコボコ」「ジャリジャリ」  
感じるのは、この形状の性です。

モデルノに「相談メール」が入る  
被害者のほとんどは「非組合員」による事故です。

只今、キャンペーン中につき

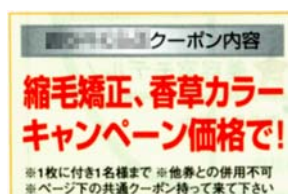
通常価格¥〇〇,〇〇〇が

→ キャンペーン価格¥〇〇,〇〇〇です！

→ キャンペーンにつき20%OFF！



という広告ほど、  
「見切り発車、美容室」が多い  
です！



だって、定価でお客様が来て頂  
けるのなら、  
割り引く必要は、全く無いので  
すから。

割引は「親切」ではありません。

立派な営業行為です！

「お客様のために・・・」

「日ごろの感謝を込めて・・・」

値引きする美容室など、ありません！

私事ですが、

モデルノでは、デジタルパーマの  
マシンを購入後、

「このレベルなら、お客様に出来る！」と  
思えるまで、2年間に渡って研究し続けました。

購入から発売までに2年です！

下手をすれば「ブーム」は終わってしまいます。

それでも、私は思います。

私が、私であり続けるためには

モデルノが、モデルノであり続けるためには

「不良品」を絶対に世に出してはいけない！

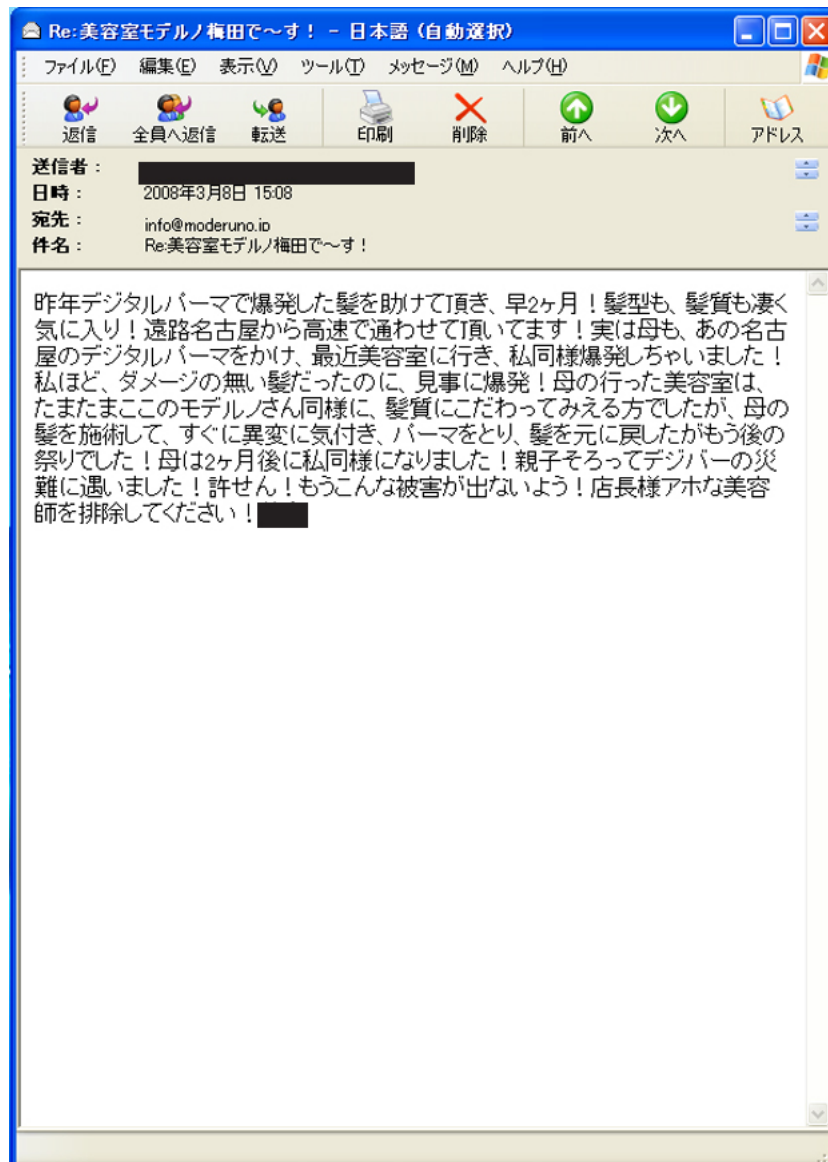
自分自身に「自信」がつくまでは、

発売してはいけない。

だって「被害者」になるのは、

**常に「お客様」ですから。**

後日、ご紹介した「被害者」の方から、  
さらに、こんなメールを頂きました。



排除できるなら、  
私も排除したい気持ちになります！



あなたが  
被害者にならないためにも、  
是非、知っておいて下さい！

美容院モデルノが提案する  
『髪の毛の痛み』のメカニズム

【3】間違ったカラーリングは、  
髪を骨粗鬆症にする！

近年カラーリングは  
美容の代表的なメニューになりました。

傷むか？  
傷まないか？ と申しますと  
カラーリングは本来メチャメチャ傷みます。  
しかも、髪の毛を芯までボロボロにします。

さらに、間違った方法で染め続けると頭蓋骨まで  
染まるらしいです。

(私は、未だ見たことがありません)  
よくあるご質問の中に

「カラーリングをすると  
髪が骨粗鬆症状態になるって本当ですか？」  
と聞かれます。

答えは、本当です。

カラーリングを美容室や自宅でし続けると  
髪が骨粗鬆症状態になってしまい、  
髪の水分や油分が失われます。

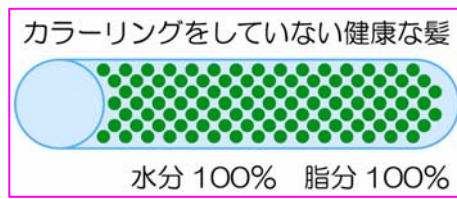
結果としてパサパサになり、  
まとまりがなくなります。  
(骨粗鬆症状態＝スカスカな状態)

では、しなければ良いか？  
と言うとそうはいきませんよね？

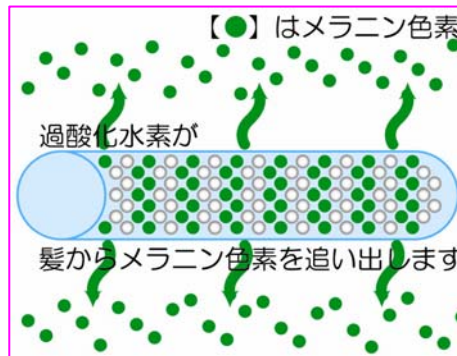
白髪が伸びてきたり、  
黒髪が伸びてくるとデザイン性が  
無くなってしまふからです。

だから、悪いと知っていても  
カラーリングが、やめられない  
麻薬状態になるのです。

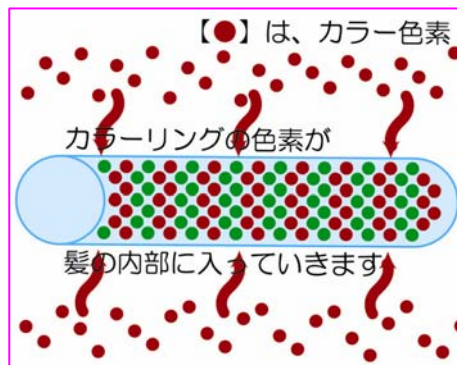
【骨粗鬆症状態】



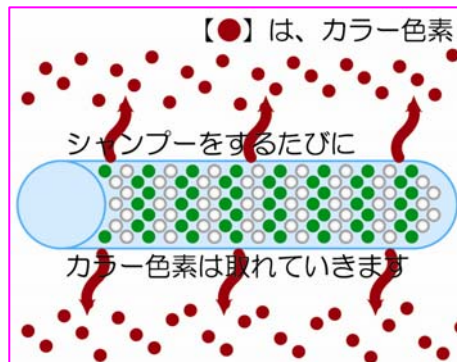
カラーリング前の髪を  
水分 100%  
脂分 100% とする。



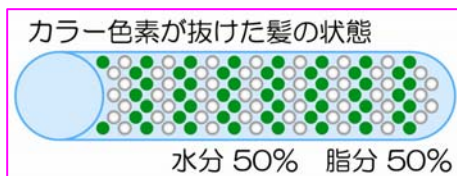
カラー剤の中に含まれる過酸化水素がメラニン色素を追い出します。



代わりに、カラーリング剤の色素（ジアミン）が穴の空いた部分に侵入します。



もともと外部から入ってきたカラー色素はシャンプーをする度に抜け落ちてしまいます。



2ヶ月ぐらい経つと  
全てカラー色素が抜け  
骨粗鬆状態になる。

仮に、メラニン色素とカラー色素を半分ずつ、入れ替えた  
と仮定すると2ヵ月後には水分・脂分は50%になる。  
では、どうすれば良いか？

傷まないように工夫をすれば良いのです。

簡単です！

ヘアケアを日頃からきちんとすれば良いのです。  
特にカラーリングをする前夜や直前は  
髪を保護する意味で、  
トリートメントをしっかりとして下さい。

それでも傷むようであれば、  
美容室側に傷めないための工夫が何もないか、  
自分で買っているカラーリングの薬が悪いか、の  
どちらかですので、

あっさりと変える勇気を持って下さい。

だって、

お金を支払ってまで傷めてもらう必要と  
理由は、何所にもありません。

こんなびっくりするようなお話もあります。

ある美容室での会話

美容師さん「〇〇様、

今日はカラーをされたので  
トリートメントをされた方が  
良いですよ！」

お客様 「ああ、そうなんですか？」

美容師さん「カラーをすると

髪が傷みますので・・・。」

お客様 「はい、分かりました。

じゃあして下さい。」

なにか？おかしいと思いませんか？

事前に傷まないようにする

トリートメントならわかりますが、  
傷んでしまってからトリートメントしても  
意味がないと思いませんか？

しかも有料ですよ！

目的の違うトリートメント（ヘッドエステなど）  
なら話は別ですが、  
やった後から（傷めてから）言われたって、

「傷んだのはお前のせいだろ！」  
と言いたくなりませんか？

なかなか言えないですよ！  
でも、これだけは覚えておいて下さい。

もしも、  
傷んだ後にするトリートメントが3千円  
ぐらいするのなら、  
3千円のホームケア用のトリートメントを  
買って下さい。

その方が何倍も髪に良いと思いませんか？

同じ金額を支払うのなら、  
毎日ホームケアをした方が絶対に効果的です。

でも、なぜかホームケア代はケチる  
お客さまが多いんですよ。

余談になりますが、

日本って美容室に使うお金は、  
先進国の中でも3位以内に入る程の消費力を持って  
いるにも関わらず、

美容室用のホームケア商品の消費はワースト2位  
なんですよ、

確かカナダがワースト1だったかな？

でも、カナダは人口密度が低く  
美容室の件数が少ないんですよね。

車で2～3時間かかるのはざらみたいです。

したがって、  
ホームケアへの意識レベルは日本が

事実上のワースト1ってことになります。

美容師として、ちょっと情けないです。

## ◎カラーリングのダメージメカニズム

カラーリングは…

アルカリ剤と過酸化水素溶液と染料の3つから構成されていて、

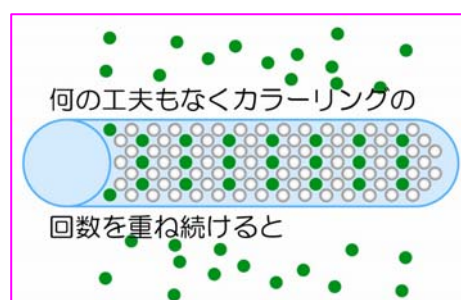
アルカリ剤がまず髪の毛を軟化（柔らかくする）して、

過酸化水素がメラニン色素を髪の毛の外に放出し、空いた穴に染料が入ります。

この原理は…

昔から何も変わりませんし、  
進歩もしていません。

逆に、年々明るさと色味を鮮明に表現するために  
ダメージは激しくなっています。



【明るくすると】  
過酸化水素のブリーチ  
力で、メラニン色素は  
抜け続けてしまう。

最終的に保水力が低下し、髪の毛の傷みが激化します。



そして、こんなご質問もよく受けます。

「カラーリングをしないと  
パサついてくるのは、なぜですか？」と  
よく聞かれます。

カラーリングというのは、  
先程も説明した通り、元からあるメラニン色素と  
カラー色素を交換するのですが、

カラー色素は元々存在する色素ではないので、  
シャンプーをする度に髪の外に出て行ってしま  
います。

洗浄力の強いシャンプー（石けんシャンプーなど）  
で、洗い続けた髪は、  
さらにメラニン色素まで奪われてしまいます。

そして、

3～4ヶ月もカラーをしないで  
放ったらかしていると、  
さらに髪は空洞化し、保水力が低下してきます。

保水力が低下すると、  
静電気の発生率が増加し、

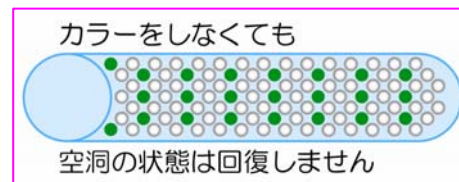
膨張し、

まとまりが悪くなってしまいます。

よく、髪が傷んでいる人程、  
髪が膨らんで見えてしまうのは、  
この静電気のせいなんです。

カラーリングのサイクルは、  
2週間以上2ヶ月未満とお考え下さい。

カラーリングはやり過ぎても傷みますが、  
やらなさ過ぎても傷みます

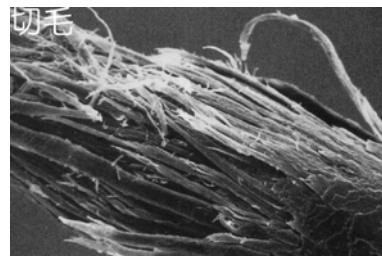
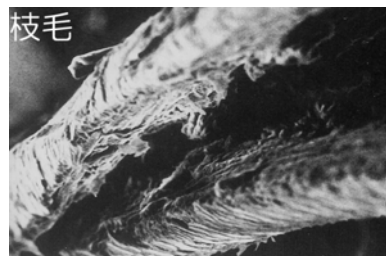


【空洞化】

「カラーをすると、  
傷むからしない」

という考えは間違いです。

空洞化した状態が長く続くと、髪は保水力を失い、  
切れやすくなったり、枝毛になったりします。



「ヘナやハーブカラーは、  
傷まないんですよ！」

と聞かれる事も良くあります。

答えは曖昧なのですが、  
純粋なヘナは傷みません。

ヘナは、  
植物性染料100%であるべきなのですが、  
ほとんどのヘナには、ジアミン染料（カラー色素）  
が入っています。

ですから、傷まないと言い切ることは出来ません。

植物性染料100%かジアミン染料入りかを見分  
ける方法は簡単です。

植物性染料100%のヘナは、  
水またはコーヒー・紅茶などと混ぜてから  
8時間以上48時間以内放置し、それから染めな  
いと全く染まりません。

逆に、ジアミン染料入りは混ぜてからすぐに染ま  
ります。

美容室でのヘナや市販化されているヘナは、  
ほとんどがすぐに染めることが出来るので、  
ジアミン染料入りです。

でも、電話で問い合わせると  
ほとんどメーカーが植物性染料100%と言い切  
ってしまいます。

多分、担当者も知らないか？  
ウソついていると思うんですけど。

本物のヘナ（植物性染料100%）は、  
抹茶と間違えてしまうぐらいきれいな緑色で、  
とても癒される独特の香りがします。

ハーブカラーにもジアミン染料は  
入っているので  
「ジアミン入りヘナ」と同じです。

ヘナ = 傷まない  
ハーブカラー = 傷まない

は、間違いです！

## ◎人為的に起こるダメージの回避の仕方

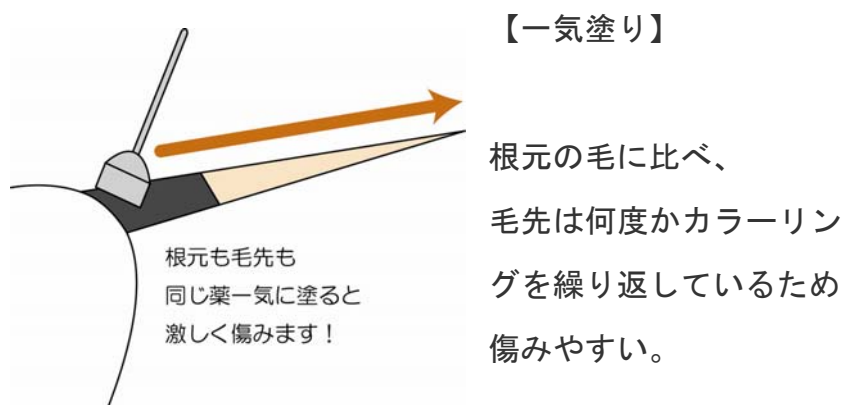
重要なのはこれからです。

カラーリングのダメージメカニズムを理解しても  
お客さまにはどうすることも出来ません。

但し、

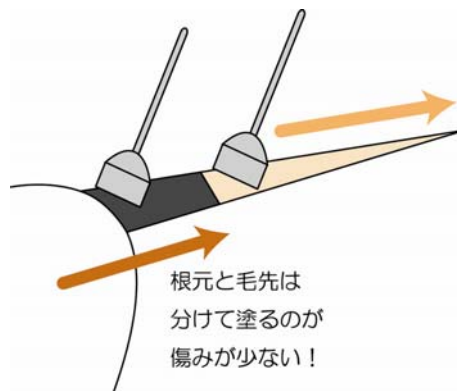
美容室においてカラーリングをする際には、  
傷んでしまうか？どうか？を  
簡単に見分ける方法があります。

- 1、根元の部分（新しく生えてきた毛）と毛先の部分の毛（既に染まっている毛）を一気に塗られたら、間違いなく傷みます。



根元と同じ薬のパワーで、カラーリングすると  
間違いなく傷みます。

2、根元の部分と毛先の部分の毛を分けて塗っているが、薬を変えた形跡がない場合には傷みます。



#### 【塗りわけ】

ダメージレベルを考え、根元と毛先は、薬のパワーを代えて塗り分けるのが正しいカラーリングの方法です。

知ってしまえば簡単なことなのですが、根元に新しく生えた髪は、強くて元気で、ある程度の薬のパワーが必要です。

しかし、何回もカラーリングしている髪は、それなりにダメージを受けているわけです。その弱っている部分に強めの薬（根元部分と同じ薬）を使えば、ダメージは促進するわけです。

特にグレイカラー（白髪染め）を頻繁に繰り返すうちに髪が細くなり、ほうきのようにチリチリした状態になり、バサバサになってしまう理由のほとんどは、

この人為的ダメージにあたります。

美容室で速やかに傷まない方法に変えて頂くか、  
お店をかえる勇気を持って下さい。

繰り返します。

お金を支払ってまで

傷めてもらう必要と

理由と義理は

何所にもありません。

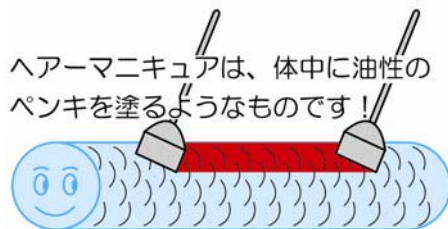
\*ヘアーマニキュアは傷まない、  
なんてウソです！

「ヘアーマニキュア＝傷まない」  
は、間違いです。

ヘアーマニキュアも立派に傷みます。  
ダメージの種類がカラーリングと異なるだけです。

ヘアーマニキュアによるダメージは、  
髪の呼吸困難による物理的ダメージです。

ヘアーマニキュアは  
髪の表面に色の付いたアクリル系樹脂を  
吸着させることでカラーリングされます。



キューティクルが開かなくなり  
水分も酸素も供給出来なくなります

#### 【呼吸困難】

毛髪は、空気中の水分と  
酸素を吸収して生存して  
います。

キューティクルは弁の役  
割をし、水分と酸素を  
出し入れしています。

キューティクルが開かな

くなると髪は呼吸困難になり、弾力を失います。



カラーリングに比べ、  
アルカリ剤や過酸化水素を使うカラーリングとは  
違い、  
アルカリ剤や過酸化水素を使用しないので、  
化学的ダメージが少ないのは事実ですが、  
アクリル系樹脂が髪の上に吸着すると  
キューティクルが空気や水分を補給しにくくなり、  
回数を重ねる度に髪が細くなり、ボロボロになる  
ことです。

ショートカットの方は、  
傷んでしまう前にカットしてしまうので気付かな  
いかもしれませんネ。

また、  
カラーリングとヘアーマニキュアの併用は、  
恐ろしく傷みますので避けて下さい。

**\*信用できる美容師さん以外には、  
パーマをかけてもらわないこと！**

皆さんご存知だと思いますが、  
パーマも髪が傷みます。

しかし、傷みのメカニズムをご存知の方は、  
ほとんどいらっしゃらないと思います。

実はパーマ液というものでは髪（健康毛）は、  
ほとんど傷む事はありません。

モデルノでの実験で  
明らかになっている事なのですが、  
高濃度（強い）なパーマ液に  
健康な髪を2時間以上浸しても

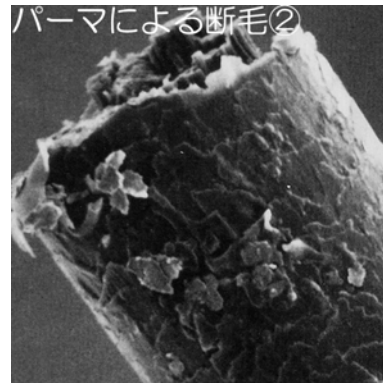
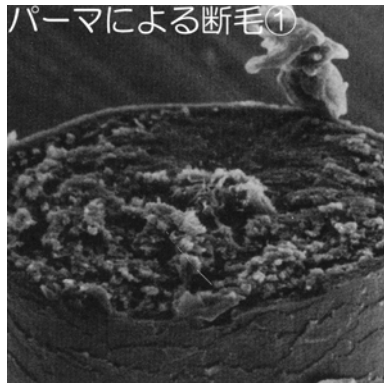
髪の損傷は、ほとんど見られませんでした。

しかし、  
同じ条件のパーマ液を予め髪につけ、  
ロッド（パーマをかけるときの棒）を  
巻きつけた状態の髪を20分間浸すと

巻き付けた髪はボロボロに傷んでしまいます。

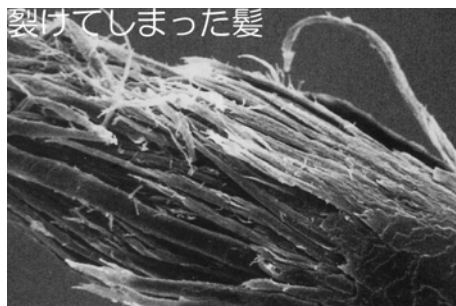
さらに、すでに傷んでいる髪に対し、  
同じ条件の実験を行うと

髪は切れてしまいます。



では、パーマでの化学的損傷はないのか？  
と言うと、そうではないんです。

健康毛ではほとんど見られないのですが、  
ダメージ毛では激しく傷みます。  
(毛糸のようになってしまう)



カラーリングが当たり前になっている現代では、  
傷めないための工夫が必要です。

カラーリングと同様にパーマをする  
前夜や直前には、  
しっかりトリートメントして下さい。

モデルノでパーマをかけた  
ご経験のある方はご存知かも知れませんが、  
パーマをかける前に傷めないための  
トリートメントをつけます。

(カラーリングも同様)

さらにパーマを巻く時にも  
特別な工夫があります。

しかも、  
ボリュームの欲しい部分といらぬ部分とでは、  
さらに工夫を致します。

美容師サイドの工夫で  
髪へのダメージはかなり軽減され、  
お客様がご自宅での正しいヘアケアを  
実践されるので、

髪のダメージ負担が無くなるわけです。

パーマの物理的ダメージを  
事前に回避する方法はありません。

基本的には、  
美容師さんにおまかせするしかないのです。

ロッドを巻く段階で強いパーマ臭がしたり、  
なんか強く引っ張られているな？

巻きつけた後に地肌に突っ張り感が…  
と感じた時点で結構やばいです。

パーマ巻きに関しては、  
美容師さんに依存する部分が多く、  
どうする事も出来ません。

最善策としては、

信用出来ない美容師さんには  
パーマをかけてもらわないことです。

情けないことですが、  
パーマ技術の開発は美容業界で一番遅れています。

何故ならば、

人（美容師さん）に依存する比率が  
あまりにも高いからです。

◎2剤を複数回つける美容室は、  
良い美容室です。

少しお分かりいただけたかもしれませんが、  
パーマは美容師さんへの依存率が高い技術です。

さらに付け加えるとパーマの2剤が  
その後の髪を修復可能状態にするか？  
修復が不可能な状態になるか？  
の運命を分けます。

2剤とは、  
パーマ液をつけ一定時間の放置後につける薬です。

美容師さんがパーマ巻きまでに  
神経をすり減らしながら  
工夫をしてくれても、  
2剤がいい加減では修復は不可能になります。

パーマの良し悪しを  
最終的に決定づけるものが2剤です。

モデルノでは最低でも2回、  
もっと多くつける場合もあります。

パーマ巻きの段階で傷んでしまっている状態でも

2剤をしっかりとつけることで、  
ある程度までは修復が可能になります。

2剤を工夫してもらうことにより  
化学的ダメージはかなり減少します。

物理的損傷は残るかもしれませんが、  
両方で傷んでしまうことに比べれば、  
相当ましな状態と言えると思います。



\*縮毛矯正は、出来るだけかけない方が良い

最近、  
ブームも、やや下火の縮毛矯正。

しかし、  
美容室関連の訴訟問題第1位にもなった。  
(今も1位かもしれない)

最も難しく、恐ろしい技術です。  
どうしても必要な方以外は  
なるべく避けられる方が良いでしょう。

よくあるトラブルは、断毛です。  
(カラーリングと併用される方に多い)



ひどい場合には、  
全頭部の脱毛なんてこともあります。

新聞沙汰にもよくなりますし、  
とにかくトラブルが多い施術なので

**信頼できる美容師以外に  
任せない方が良いでしょう。**

でも、万が一にも次のような感じがしたら、  
1秒でも早く洗い流してもらって下さい。

### **1、薬（1剤）を地肌に付けている。**

\*薬にも1剤と2剤があり、  
初めに付けるのが1剤です。

アンモニア臭（つーんとした臭い）が  
するので分かりやすいと思います。

2剤は地肌から付けることも  
あるみたいですが、温めない限り危険は少ないです。

**2、地肌に薬（1剤）がたくさん垂れてきて、  
ピリピリとした痛みを感じる、痛痒い感覚が続くなどの場合。  
このケースの事故が多いと思います。**

### 3、理由は分からないが、痛みを感じる。

まさかそんな？と思うかもしれませんが、痛みを訴えても「もうちょっとですから…」と言われて  
脱毛・断毛するケースが多いのです。

実際の話ですが、  
過去に他店で部分的な断毛を経験されているお客様もいらっしゃいますし、

カラーリングなどで、同じような痛みを訴えても  
「もうちょっとですから…」と言われ、  
軽いやけど状態になった経験の持ち主も  
少なくありません。

痛みを感じたり、  
おかしいなと思ったら、

直ぐに美容師さんに申し出て下さい。

「もうちょっとですから…」と言われても、  
1秒でも早く洗い流してもらって下さい。

そして、痛みを申し出ても  
「もうちょっとですから…」と言う美容室は、  
1秒でも早く店を変える勇気を持って下さい。

我慢しても最終的に被害を被るのは、  
『あなた』です。

縮毛矯正のダメージメカニズムは、  
髪の毛のやけどです。

（今までのお話は論外です）  
縮毛矯正をする時に多くは、  
ヘアアイロンをかけます。

熱を加える時に、  
タンパク変性とか、  
加水分解とか、  
話せば長くなる事をして、

髪の毛が髪の毛以外の繊維に変化するのが  
縮毛矯正です。

その時に髪の毛がやけどをし、  
パサパサになったり、ひどい時は断毛します。

断毛は困りますが、  
縮毛矯正をする場合は、  
ある程度のダメージリスクは覚悟して下さい。

傷めないと癖が伸びないのです。  
それが縮毛矯正です。

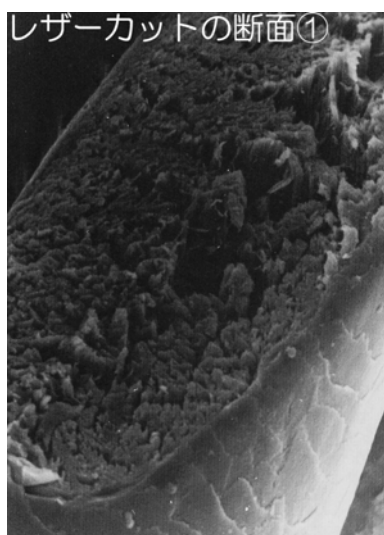
工夫をすれば  
ある程度のダメージ軽減は出来ますが、

160～180℃以上の高温から  
髪を守る方法はありません。  
ですから、どうしても必要な方以外は、  
なるべく避けられる方が良いでしょう。

## \*カットだって、立派に傷みます

最近、カットによるダメージをお聞きすることが多くなりました。

昔は、  
レザーカットで傷んだ話をよく聞きましたが、  
最近ではハサミでも傷みます。

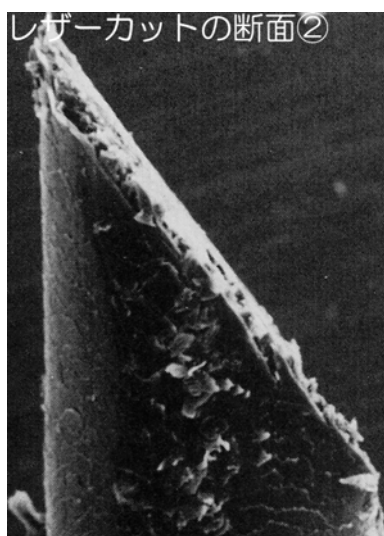


【カットの断面】

レザー（カミソリ）カットの場合、切り取った髪の毛の断面が大きくなってしまいうため、

髪の中から「タンパク質」が流出しやすくなり、

「パサつき」や「枝毛」の原因になりやすくなります。



同じ様に

「スライドカット」も  
カット断面が大きくなりやすい。

カリスマ美容師ブームの頃から  
彼等がショー的に行う  
エフェクトカット（エフェクション）により、  
傷む事が多くなりました。

傷む理由は、切断面が鋭角になるからです。

切断面が鋭角になると、  
切断面の面積が広くなり、  
タンパク質の流出が多くなるからです。

その他には、  
ハサミの研ぎ不足による  
ダメージも忘れてはなりません。

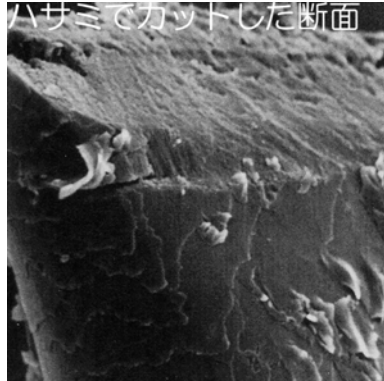
床屋さんが皮（名前は知らない）で  
ハサミを研いでいる姿を  
目にした事はありませんか？

あれって大事なんです。

何人かカットするうちに  
ハサミの切れ味が鈍くなってしまふんです。

毎日毎日、  
研ぎ直すから切れ味がおちない、

だから髪も傷まない。



【ハサミのカット断面】

よく研がれたハサミのカット断面は、タンパク質が流出し  
難しい。

大工さんのカンナも同じです。

木をいたわるから毎日研ぐんです。  
いたわりの気持ちが大事なんですよ！

全てのハサミを最低でも、  
毎月研ぎに出す  
美容師さんにカットして頂きたいものです。



## 『髪は自宅でお金を払って傷めている』

\*何も知らないまま、  
市販のカラーリングを使い続けると  
後で痛い目にあう。

ここからは、  
少し耳の痛い話になるかもしれませんが、  
読みたくない方はどうぞ、飛ばして下さい。

市販されているカラーリング剤の最大の欠点は、

使うお客様自身が  
カラーリングの薬に対しての知識が  
無いという事です。

今から使う薬がどういう物で、  
どんな弊害があり、  
害や事故が起きた場合に  
どんな対処をすれば良いか？

という知識を持たないで使用してしまうからです。

これだけは絶対に覚えておいて下さい。

カラーリングの薬は、  
皆様や大切なお子様が飲んだ場合、

死に至る危険性のある劇薬である。

という事です。

私自身の認識ですが、  
国家試験である美容師免許は、  
カラーリングやパーマ液のように  
肌に直接触れても大きな害はないが、

飲用すると劇薬になる薬物を使用して  
施術をしたり、

ハサミのように使用を誤ると  
凶器になる物を使用して施術するので、  
その薬剤や危険物に対する  
知識と認識を熟知し、

国家で認定された者のみが、  
施術を許可されているのだと思っています。

(法律上は忘れました)

そもそも厚生労働省が  
そのような劇薬を一般市場向けに、  
販売許可している事に疑問を感じますが、

劇薬としての認識がない頃から  
市販化されているので  
どうしようもありません。

しかし、それでも使われる方は、  
次の2点だけは気をつけて下さい。

当たり前の事すぎて怒られるかもしれませんが  
がお許し下さい。

1、飲用すると劇薬になりますので、必ず子供の  
手の届かない場所で保管して下さい。

特に、使い残した物を子供が飲んでしまう危険  
性が高いので、机の上やお風呂に放置しないで  
下さい。

2、カラーリング後は、必ず乳化してからシャン  
プーして下さい。

乳化する事で頭皮へのダメージは、かなり軽

減されます。

乳化とは、

所定の時間を過ぎたカラーリング剤を 水または  
お湯になじませて、

頭皮や肌から浮き上がらせる作業の事です。

(美容室でシャンプー剤をつける前に  
「もみもみ」している作業)



分からなければ、美容師さんに聞いて下さい。  
知らない美容師は、いないと思います。

地味な作業ですが、

乳化をしないと5～10年後に  
薄毛や細毛の原因になります。

カラーリング剤は髪だけでなく、  
頭皮の毛穴にも入り込みます。

その毛穴に詰まったままのカラーリング剤が  
毛根に悪影響を与えるばかりでなく、  
頭皮そのものに染着し、  
長く続ければ頭蓋骨にまで至るとも言われています。  
(見た事がないので確証はありません)

美容室でカラーリングする場合は、

必ず乳化をするのでそのような事はありませんが、  
乳化をはぶいているお店もあるようですので、

そのような美容室での  
カラーリングはお勧め致しません。

自宅でのカラーリングは、  
たとえ乳化をしたとしても、  
お勧めすることは出来ませんが、  
乳化をすることで薄毛や細毛の原因が減ります。

間違えないで頂きたいのが、  
あくまでも減るだけで、  
無くなるわけではありません。

基本的には

美容室でのカラーリングをお勧め致します。

また、

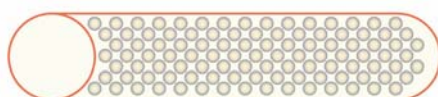
市販化されているカラーリング剤で  
最も傷むのが、ブリーチです。

ブリーチは、

単にメラニン色素を抜くだけで、  
カラーリングの色素も入りませんので  
骨粗鬆症状態が激しく、  
「水分も油分も無い髪」になってしまいます。

ブリーチによって  
メラニン（水分）を

【ミイラ化】



髪から水分が無くなり、  
繊維だけの状態

全て奪われた髪は保水  
出来なくなりミイラ化する

さらに、

髪から水分や油分が奪われることにより、  
枝毛や切れ毛になり易く、  
パーマやカラーリングでの  
トラブルの原因にもなります。

ブリーチ毛はミイラ状態になると言っても

過言ではないかもしれません。

自分でカラーやブリーチをしないのが一番です。

特にパーマをかける場合、  
パーマがかかる、タンパク質が無い状態なので、  
キレイにかかる筈がありません。

\* 不適切なヘアケアは、  
薄毛・細毛の原因になる

家庭で一番傷むのは、  
自宅でのカラーリングですが、  
見た目に分からない内に  
ジワジワと髪や頭皮を傷めていくのが、

ヘアケアです。

特にスタイリング剤による  
頭皮のダメージは恐ろしく、  
軽く考えてはいけません。

スタイリング剤は、  
出来れば使わない方が良いです。  
(本音は絶対使って欲しくない)

スタイリング剤のほとんどが、  
固まるように出来ていますよね。

なぜ固まるか考えたことがありますか？

簡単です！

接着剤が入っているのです。



ムース・ワックス・ジェル・  
ミスト・スプレーなどの  
固まる系のスタイリング剤は  
ほとんど処方と同じです。

接着剤をアルコールに溶かし粘性を出せば  
ワックスやジェル、ガスを入れればスプレー、  
発泡させればムースになります。

ヘアミストが一番簡単ですが、  
灰皿の上で燃やしてみてください。

アルコールが入っているので、  
青く透明な状態で燃え尽き、  
最後に接着剤が現れます。



【実験①】

あなたの使っているスタイリ  
ング剤を灰皿で燃やしてみ  
てください。

その接着剤は、毛穴にも付くんですよ！

接着剤を溶かす理由で  
アルコールが使われていますが、

アルコールは髪や頭皮から水分を奪ってしまい、  
残った接着剤は頭皮の毛穴を塞ぎます。



【実験②】

燃え尽きたスタイリング剤が  
冷え切る前に手に取って  
触っていると「接着剤」が  
現れます。



当然のように毛穴は詰まり、  
細毛や薄毛の原因になります。

大袈裟な話ではなく、  
ソバージュ世代やミストで  
よく前髪を立てた世代の方にお聞きします。

Q1

30～50代の方で  
ソバージュが流行した頃に  
大量のムースを 사용하지ましたか？

Q2

その頃に毛先だけでなく、  
前髪や頭頂部にも  
大量にムースを付けませんでしたか？

Q3

今、頭頂部や前髪は細くなっていませんか？

Q4

今、頭頂部や前髪は薄くなっていませんか？

Q5

カラーリングをするようになり、  
より顕著に抜け毛や薄毛に悩んでいませんか？

Q6

前髪が細くないですか？

どれかにあてはまる方は、結構多いと思います。

結果として知らなかったが故に、  
自分でお金を払い、  
家庭で傷めてしまったことになります。

スタイリング剤は便利な商品ですが、  
髪の毛や頭皮のために良い商品ではありません。

販売メーカーもメリットを記載しても  
デメリットは記載しません。  
当たり前ですが、売れなくなるからです。

便利な商品と、  
良い商品は必ずしも一致しない、  
ということです。

最近では、  
効きもしないのに髪が甦ったように見せる  
誇大広告やCMも珍しくありませんし、

いかにも素人を装った、  
売れない女優らしき女性が  
「一週間で違ってきた…」とか  
「初めての感触で…」とか言いますよね？

あれって、  
喋りが上手すぎるといませんか？

当たり前ですけど、  
きれいな女優さんが  
市販のシャンプーやスタイリング剤を  
使っていると思いますか？

多分、自分で洗ったことも、  
仕上げたこともないと思いますけど。

(余談になりました)

これから 20 代の後半を迎える方や、  
すでにその年齢に達している方は  
ぜひ覚えて下さい。

髪は 30 代を境に急激に衰えはじめます。

20 代までのつけは  
必ず 30 代から精算しなければなりません。

スタイリング剤の使用は  
最小限にとどめて下さい。

そして、

30代を越えた方は  
なるべくスタイリング剤を使わない方が  
いいですよ。

40代・50代になってから  
必ず、薄毛・細毛・ダメージ、  
最悪はハゲなどに悩まされます。

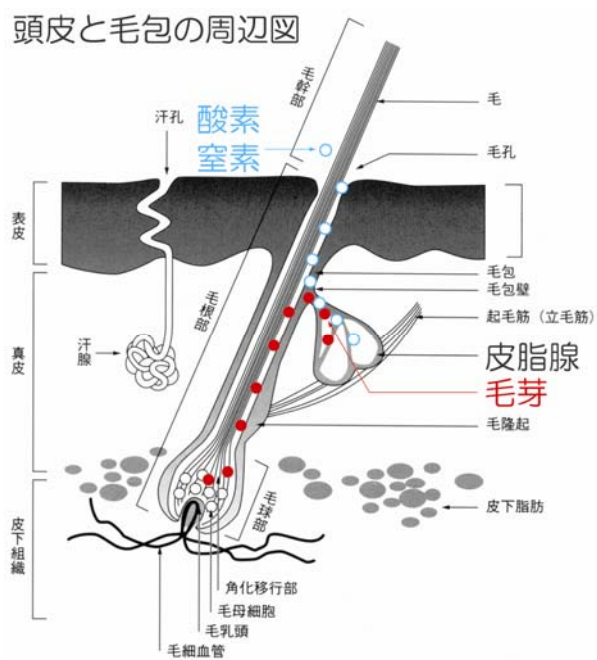
## ◎髪がはえるメカニズム

髪は、  
空気中の酸素と窒素が  
毛孔を通り、  
皮脂腺を刺激し、

毛芽（もうが）と呼ばれる  
髪の「素」を発生します。

その毛芽は、毛乳頭に集まり、  
「髪」になって行きます。

これを「毛芽説」と言い、  
髪が誕生する最有力説となっています。



ところが、スタイリング剤などで  
毛穴が詰まっていると、

空気中の酸素と窒素が  
毛穴から皮脂腺に到達することが  
困難になり、髪の発育は悪くなってしまいます。

発育の悪い髪は  
本来の水分量・太さを保つことが出来ず、  
パサパサしていたり、  
弾力が無くなったり、  
細くなったりします。

**薄毛・細毛の始まりです！**



## ◎間違ったシャンプー選びで髪は衰える

先程も余談で少し触れましたが、  
30代からは厳選して  
シャンプーを選んで下さい。

髪の衰えは、必ず頭皮から始まります。  
シャンプーは  
髪を洗う物から頭皮を洗う物に変えて下さい。

油分の多いシャンプーやトリートメント、  
スタイリング剤により毛穴が  
つまってしまっている写真です。



【健康な毛穴】

くっきりと毛穴が見えるのが  
解ります。



【つまった毛穴】

髪と毛穴を角質と老廃物で  
覆い尽くされています。

毛穴が全く見えない状態

ははっきり分かります。

この状態が長く続くと、細毛・薄毛の原因になります。

髪を洗うシャンプーは、

傷んだ髪を油の重みで抑えようとしますので、油分が多く、かえって頭皮の毛穴が詰まり易くなります。

何故ならば、油は空気に触れると酸化し、ラード状の固まりに変化します。

ラード状になった酸化油は、

毛穴を塞ぎ、髪の毛が生えにくい環境を作ってしまう。

特に、リンスやトリートメントをすることで、

中に含まれている油がさらに酸化しますので、洗っても、洗っても毛穴のつまりがとれず、何時まで経っても髪の毛の生え易い環境が出来上がりません。

この状態が長く続くと毛根が弱り、薄毛・細毛になるのです。



**【角質の覆い頭皮】**

角質が厚く、  
頭皮を覆っています。



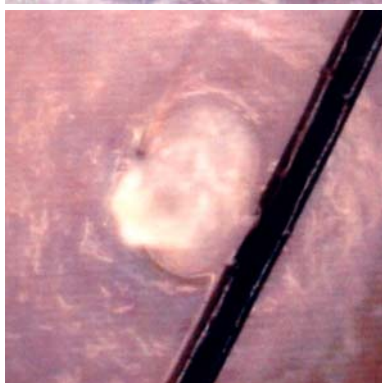
**【ループ毛】**

角質が厚いので、  
新しくはえた髪が角質の中に  
埋まっています。



**【肥大した老廃物】**

頭皮が洗われていない為、  
老廃物が肥大化しています。



**【埋め尽くされた毛穴】**

老廃物が毛穴を埋め尽くし、  
髪の毛がはえていない。



【退化した毛穴】

毛穴が解り辛く、  
細くなった毛髪



【毛群形成がない毛穴】

髪が1本しか  
はえていない毛穴。

薄毛の象徴です。

不適切なヘアケアにより、  
毛穴は、どんどん退化します。

頭皮と髪に違和感を感じたら、  
お近くの美容室で  
早めに頭皮チェックを受けてください。

## ◎リンスやトリートメントは使った方が良い？

答えは、いいえです。

一般的な常識から言えば、おかしい答えですよ。

でも、本当です。

髪が激しく傷んでいなければ、  
本来は必要ありません。

リンスやトリートメントは  
シャンプーをした時のキシミを  
緩和するために生まれた物です。

古くは、  
レモン水やお酢などを使用していたそうです。

問題は、  
リンスやトリートメントに含まれている  
「油」です。

「あぶら」という文字にも二通りあります。

『油』と『脂』です。

『油』は基本的に加工品で、

『脂』は人体や動物の体内に含まれている物です。

どちらが人体に馴染みやすいかと申しますと『脂』なんです。

ですから『油』は人体に馴染みにくく、吸着・吸収はしますが、適合は致しません。

リンスやトリートメントの主原料は、『油』ですので本来必要のない成分なのです。

先程の話にも出ましたが、油は空気に触れると酸化して毛穴を塞いでしまいます。

使っても、くし通りが良くなること以外あまり利点はないのです。

では、レモン水やお酢などが良いか？  
というとあまり効果がありません。

確かに酸性水なのでキューティクルを引き締める作用はありますが、phの（ペーハー）コントロールが出来ません。

髪の毛の理想的なphは、5.5前後（等電点といいます）。

シャンプー後の髪を等電点に戻すための  
酸化剤（レモン水やお酢）の pH は、4.5 ~ 4.7  
でなければなりません。（自作は極めて難しい）

では何を使えばいいの？  
って話になりますが、基本的にないのです。

（モデルノには、エッセンスエアーという商品が  
あります。良ければ使ってみてください）

ですから、皆様にも工夫をして欲しいのです。

- ・ リンスやトリートメントは、  
大量に使用しない。
- ・ 毛先から付け、頭皮には、  
なるべく付けないようにする。
- ・ すすぎは、必ずしっかりする。
- ・ リンスやトリートメントの油は、  
顔や肌に良くないので、洗顔は後です。  
（身体も）
- ・ 傷んでいる方は、  
シャンプーも2度洗いしない。

最近、オリーブオイルや椿油などを  
ツヤ出しに使われる方が増えていますが、  
安全そうな植物油も『油』です。

使い過ぎるとパーマのかかり上がりが  
悪くなったり、  
ボリュームが出なくなる原因にもなります。

使って大きな害がある物でもありませんが、  
あまりお勧めできません。

ツヤ出しにお使いになる『油』は、  
スクワランオイルがお勧めです。

スクワランオイルは、油の中でも  
一番『脂』に近い成分と言われています。

お肌や髪へのなじみも大変良いのでお勧めです。  
なるべく純度 100%の物が良いです。  
(モデルノにもあります。使ってみてください)

よくスクワランオイルと書いてあっても、  
ホホバオイルなどの『油』と混合されている物が  
あります。

どちらの含有量が多いか分からないので



避けるのがベターです。

## ◎リンスやトリートメントの補足

カラーリングやパーマの項目で、  
『直前はトリートメントをしっかりと下さい』  
と書きましたが、

前文では  
『リンスやトリートメントは使わない方が良い』  
と書きました。

非常に矛盾していますので補足致します。

リンスやトリートメントは使わない方が良い、  
というのは本当です。

しかし、  
今現在のご家庭にリンスやトリートメント以外に  
髪のプロテクションがないと思いますので、

『直前はトリートメントをしっかりと下さい』  
と書きました。

本来であれば、  
ケラチンやコラーゲンなどのタンパク質などが効  
果的なのですが、

一般家庭にはそんな物ありませんよね。

もしあったとしても、  
髪の毛に有効な分子量かどうかは問題ですし、  
使用方法も様々です。

前途しました

椿油やオリーブオイルなどは分子量が  
大きすぎてしまうので、  
カラーリングが染まらなくなったり、  
パーマがかからなくなったりします。

あくまでもリンスやトリートメントは、  
手軽な保護剤としての一例ですので補足致します。

## ◎ヘアケアのまとめ

昔、  
ウイスキーか何かの宣伝で、  
『何も足さない、何もひかない』という  
名文句がありました。

ヘアケアって、  
まさにそれに当てはまるナ～って感じがします。

あるがままに、不必要な物を足さず、  
必要な物は無くさないように、  
本物だけを味わう。

スタイリング剤などは特にそうですが、  
不必要な物を加えるために、  
必要な物の多くを犠牲にしてしまいます。

出来ればなるべく使わなくても済む  
ヘアースタイルも検討されることで、  
ダメージを回避して頂きたいと思います。

シャンプーは、  
髪質や年代を考慮して自分に合う最良のものを厳  
選して下さい。

皆様にとっては、分かっているようで  
良く分からないものがヘアケアだと思います。

本来であれば、

私たち美容師がお客様に適切なアドバイスを  
し続けなければならない  
と思いますが、何も聞かれないお客様には  
なかなか勧めづらい事でもありますし、

「売られる」「買わされる」という拒否反応を  
示すお客様も少なくないのも事実です。

興味がある方は  
是非ご自分から美容師さんに聞いてみて下さい。

『私、こんなことで悩んでるの！  
何か良いものあるかしら？』

『実は、以前から気になっていたんです。  
是非これを使ってみて下さい』  
なんて事があると思います。

## 『夏冬関係なく髪は乾燥している』

髪は夏冬関係なく乾燥しています。  
以前は冬が乾燥の季節でしたが、  
現在の環境を考えてみて下さい。

冬は、  
ストーブを焚き、  
エアコンを入れ、部屋中が乾燥してしまいます。

夏でも  
朝起きればエアコンを入れ、  
車に乗る時も、会社、スーパー、  
電車などの至る所でエアコンがかかっています。

髪だけでなく、  
お肌を取り巻く環境も大きく変化しているので  
ヘアケアもスキンケアもエアコンや冷暖房器具  
による乾燥を無視するわけにはいきません。

## 『自然界から受ける髪への痛み』

自然は大きく変化してしまいました。

オゾン層の破壊で紫外線は年々強くなり、  
オーストラリアでは、  
皮膚ガン患者さんが増加しているそうです。

髪もやはり紫外線に弱く、  
特にカラーリングをしている方のダメージは半端  
なものではありません。

今後はお肌だけでなく、  
髪や頭皮の紫外線対策も  
考えていかなければなりません。

長時間、  
外で紫外線を浴びるゴルフやテニスなどの  
スポーツをされる際には、サンバイザーではなく、  
頭皮や髪も覆う帽子をかぶるなどの工夫をして下  
さい。

また、UV スプレーを髪や頭皮にかけることで、  
紫外線の影響を軽減することも出来ますのでお試  
し下さい。

## ◎食事と睡眠について

食べ物は、とても肝心なエネルギー源です。

最近日本では、  
ダイエットや美肌を追求するためにサプリメント  
の出荷が  
急増しているそうですが、  
逆に、サプリメント大国アメリカでは、  
サプリメントへの依存率が下がり始め、  
安心して栄養価が高いといわれる高級食材（オーガ  
ニック製品など）に  
人気が高まっているそうです。

本物の時代と言われる象徴ですね。

やはり、農薬を使わない野菜や果物の持つ本当の  
甘さや旨味、  
何よりも食品から得る栄養が一番大切ということ  
に気付きはじめて  
いるという事だと思います。

睡眠に関してもですが、

テンピュールの枕や快眠グッズなどが爆発的に売  
れている理由に、



『癒し』だとか『やすらぎ』を求める傾向が伺えます。

本来、睡眠適正時間帯に寝る事が出来れば、  
不必要な物かもしれません。

『草木も眠る丑三つ時』と言うように、  
草や木ですら寝ている時間帯である  
午前二時から四時に熟睡出来れば、  
高価な枕や快眠グッズは必要ないかもしれません。

無理な時間帯に『癒し』や『やすらぎ』を  
求めるので、必要性があるのかもしれません。

食事や睡眠がしっかり取れていない方の髪は、  
水分量、油分量共に少なく、肌や頭皮に常にトラ  
ブルを抱えています。

補給しづらい栄養素を  
サプリメントで補う事も大切ですが、  
もう一度食事の大切さと睡眠を取るべき時間帯に  
しっかり身体を休める事の大切さも考え直す時期  
なのかも知れません。

## 『あとがき』

この章を読んで下さる方は、  
最後まで読んで頂いた方ですね。  
ありがとうございます。

最近、プロって人が少なくなりました。

機械のオートメーション化や  
フランチャイズチェーンに代表される  
マニュアル化により、  
誰でも簡単にセミプロ化出来るよう  
なってしまったからでしょうか？

市販のカラーリング剤にしても同じですよ？

プロの私たちの手を借りなくても  
自分で手軽にカラーリングが  
出来てしまう訳ですから。

確かに、美容師のプロ意識の低下により、  
美容室でカラーしても、  
自分でカラーしてもしてたいして変わらない、  
と思われるかも知れませんが、  
やはりプロって違うと思うんです。

髪質とデザインとのバランスや、  
洋服の好みとカラーの明度・彩度のバランス、  
顔の形とボリュームのバランス、  
ライフスタイルとデザインのバランスを  
様々な角度から分析して、  
お客様一人一人に最適なバランスを提供する。

それがプロだと思いますし、  
もう一步踏み込んで、  
デザインとダメージとのバランスを測れるのが、  
プロ中のプロだと思います。

どんな業界や世界でも  
『素材を活かす』が必ずキーワードになっている  
ように思いますが、

何故か美容の業界だけは、  
『やれば、やるほど傷む』が  
当たり前になっています。

それが、自分自身にも許せませんし、  
業界全体の恥にも思えます。

同じように、  
お客様にもダメージに対する意識を  
変えて頂きたいと思いますし、

諦めないで欲しいと思います。

根元が伸びたからカラーをするのは手段に過ぎず、  
本当の目的は『美しくなること』のはずです。

形（デザイン）は誰でも容易にまねる  
ことができますが、  
本当の美しさは『質』にあります。

また、  
質だけは誰もが容易にまねる事が出来ません。  
『手入れ』という手間と意識が必要だからです。

この冊子を読んで頂いた方、全員とは申しません。

私たちモデルノの考え方に  
共感して頂ける方だけでも結構です。

諦めないで『意識』を『意志』  
に変えてみて下さい。

モデルノは、髪を傷めたくない！

美しくなるための『質』を手に入れたい方の  
お手伝いを今後もしていきたいと思えます。

また、  
今は『質』に興味や意識がない方でも、  
髪ダメージに困った時には、  
いつでもモデルノを訪ねてください。

『最後の砦』でも『駆け込み寺』でも結構です。  
いつか、御縁があったら是非お訪ね下さい。

今後も私たちモデルノは、  
髪ダメージと戦い続け、  
プロ中のプロを目指し続けます。

最後まで読んで頂きまして、  
改めてありがとうございました。

美容室 モデルノ 梅田博之